

福島県須賀川市

【2期計画：平成31年4月～平成36年3月】

- ・須賀川市は、福島県のほぼ中央に位置する、県南地域の主要都市のひとつ。
- ・室町時代は城下町、江戸時代は奥州街道屈指の宿場町として栄えた。現在は、中心市街地及びその周辺が特に大きな被害を受けた東日本大震災からの復旧・復興に向けたまちづくりが進む。
- ・人口77,171人（住民基本台帳（平成30年1月1日））、面積279.43km²

【前期計画（平成26年4月～平成31年3月）の概要】

○東日本大震災により被災した市役所を新庁舎整備事業により再建したことで平日歩行者通行量が増加。図書館、子育て支援センター等からなる市民交流センター（H31. 1開館）による事業効果も大きく見込まれる。

○空き店舗対策として実施した中心市街地商業集積事業補助金により店舗数が増加、また災害公営住宅整備事業や地域優良賃貸住宅整備費補助事業により中心市街地人口が社会増など、一定の効果がある一方、日曜休業の店舗が多く、休日の歩行者通行量が平日の約65%しかないため、市民からの意見では中心市街地の活性化のイメージが低い。

【中心市街地の課題等】

○魅力集積による休日の回遊性向上

休日の賑わい力不足が中心市街地のイメージを低下させている。街への玄関口となる駅周辺と市役所周辺の2つのエリアを中心に魅力を集積させるとともに、駅周辺エリアから市役所周辺エリアへと向けた人の流れが必要である。

○新規出店者数の増加

訪れたいくなる多様かつ魅力ある店舗等を充実させるため、新規創業者（特に飲食店や製造小売業）が参入しやすい環境を整える必要がある。

○公共施設・空間の官民連携による有効活用

店舗以外でも多くの来街者を集めるため、市民交流センター（H31. 1開館）をはじめ中心市街地に集積する公共施設や公共空間を官民連携のもと有効活用する必要がある。

【目指す中心市街地の都市像】

また遊びに来たいくなる 魅力にあふれた街

休日の回遊性を向上する

【主要事業】

- ・市民交流センターを核とした回遊推進事業
- ・（仮称）文化創造伝承館整備事業
- ・ウルトラマンを活用したまちづくり事業
- ・まちなか出店推進事業
- ・翠ヶ丘公園老朽化施設リノベーション事業 など

新たに店舗を構える人を増やす

【主要事業】

- ・須賀川駅西地区都市再生整備事業
- ・まちなか出店推進事業（再掲）
- ・シェア店舗整備事業
- ・Rojimaーすかがわの路地deマーケット など

公共施設・空間の民間活用を増やす

【主要事業】

- ・中心市街地民間事業サポート事業 など
- [対象施設]
市庁舎・市民交流センター・JR須賀川駅
（仮称）文化創造伝承館・翠ヶ丘公園・結の辻

【前期計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値	最新値 ※()は目標値の達成見込
回遊性の向上を図る	平日歩行者通行量 (9地点合計平日歩行者 通行量)	2,486人/日 (H20)	2,640/日 (H30)	2,588人/日 (H30: 未達成)
商業活動の活性化を図る	年平均出店者数 (商店会等への過去5年 平均加入店舗数)	2.2店舗 (H20～24)	3.2店舗 (H26～30)	3.6店舗 (H25～29:達 成見込)
定住を促進する	中心市街地の居住人口 (過去5年間合計社会増 減数)	-85人 (H19～22、 24)	85人 (H26～30)	184人 (H25～29:達 成見込)

【新計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値
魅力ある コンテンツを増やし 休日の回遊性を 向上する	休日歩行者通行量 (9地点合計)	1,960人/日 (H30)	2,689人/日 (H35)
新たに店舗を 構える人を増やす	新規出店数 (5年合計)	18店舗 (H25～29)	36店舗 (H31～H35)
公共施設・空間の 民間活用を増やす	民間事業者における 対象施設利用件数 (6施設※合計)	19件 (H29)	102件 (H35)

※市庁舎・市民交流センター・JR須賀川駅・（仮称）文化創造伝承館・翠ヶ丘公園・結の辻

須賀川市中心市街地活性化基本計画の事業概要

休日の回遊性を向上する

①市民交流センターを核とした回遊推進事業

施設内の各機能(多目的ホールや貸室、図書館、子育て支援施設、円谷英二ミュージアムなど)を活用しつつ、官民連携により「国際短編映画祭」や「特撮文化推進関連事業(企画展・講演会)」などのイベントを実施し、賑わいを創出することで、当施設を核としたまちなかの回遊推進を図る。

②(仮称)文化創造伝承館整備事業

震災で被災した芭蕉記念館の機能を移転し、郷土の偉人顕彰と俳句を中心とした本市文化・伝統等の継承の拠点、またまちなか観光の拠点として施設整備を行う。

③公園内老朽化施設リノベーション事業

翠ヶ丘公園の民間管理に向けた中核施設として、公園内の休憩施設を公募設置管理制度(Park-PFI)の活用により、収益施設にリノベーションする事業。公園としての賑わい創出と、市街地と公園間の回遊性向上を目指す。

④ウルトラマンを活用したまちづくり事業

前計画で整備したウルトラヒーローや怪獣のモニュメント、円谷英二ミュージアムなどを活用した官民連携によるイベントを実施するとともに、ウルトラマン関連商品開発の支援を行う。



新たに店舗を構える人を増やす

⑤まちなか出店推進事業

出店しやすい環境と魅力ある店舗の創出のため、まちづくり会社と協力し、WEBで空き店舗等の情報発信や物件発掘、それら物件と出店を目指す者とのマッチングを行う。また創業塾など経営知識の習得の場や、出店に向けた各種相談のできる場など、まちなかでの出店を推進するためのスキームを官民連携により構築する。

⑥須賀川駅西地区都市再生整備事業

JR須賀川駅周辺の魅力向上に向け、東西自由通路や駅西地区駅前広場、駐車場等を整備し、駅西地区の利便性とアクセス性の向上、商業機能の誘導を図る。

⑦シェア店舗整備事業

まちづくり会社が主体となり、空き店舗を廉価な小スペース店舗(シェア店舗)に改修することにより、出店しやすい環境を整える。

⑧Rojima-すかがわの路地deマーケット

市内の若者を中心に毎月第2日曜日に広場や駐車場、空き店舗などを活用し、マルシェを実施する。市内外からの来場者による中心市街地の賑わい向上と、マルシェ出店者の創業機運を高める。

中心市街地領域 : 約130.8ha

中心市街地人口 : 6,194人(平成30年)



公共施設・空間の民間活用を増やす

⑨中心市街地民間事業サポート事業

従来、民間事業者の使用が制限されていた市庁舎や市民交流センターなどの公共施設・空間の使用要件を緩和することで、認定された民間事業者が中心市街地内の公共施設・空間を活用した収益事業ができるよう支援をする。